

# 従来技術・競合技術との比較・優位性、ベンチマーク



H28.5.30



日本には山形大学や九州大学のよう  
に有機ELの基礎研究で世界をリード  
する大学もある。液晶時代と同様に、部  
材や装置など、ふ厚い裾野産業も有す  
る。にもかかわらず、有機ELでは日本  
の最終製品メーカーが「地の利」を生  
かせないのはなぜなのか。

(本文抜粋)

## 東アジアで「究極のパネル」の投資合戦 けん引する韓国 巨大工場の現場

「液晶の次」と言われ続けてきた有機EL市場がいよいよ成長ステージに入った。韓国のLG、サムスングループを筆頭に、東アジアで投資合戦が加速する。先行する韓国パネル陣営の最前線と、中国、日本の現状を取材した。

1兆円規模の投資(真空プロセス)

印刷によるプロセス革新 → 低投資・高生産性  
ディスプレイパネル日本復活の鍵